

条例第18条の2第2項に規定する自主規制団体からの聴き取り結果

(令和3年2月1日～2月3日実施)

	図 書 名 等	聴 き 取 り 内 容
1	<p>MISSY COMICS コスモコミックス 人妻湯けむりNTRアンソロジーコミック</p> <p>令和2年12月9日発行</p>	<p>多少のストーリー性はあるが、全体的に性描写が多い。性器の直接的な描写はなく体液の描き方も控えめであるが、その一方で開脚した状態での性交が多く、また一部に相手の同意なく始まった性交が、最終的に受け入れられるというものがあり、誤解を与える可能性がある。極度に過激な性描写があるわけではないが、ほぼ全編性描写であり、和姦の肯定が特に問題と感じる。指定やむなし。</p> <p>温泉を舞台にした8人の作家によるアンソロジーコミックであるが故に、結果的に全裸シーンと性交シーンの分量が多くなっている。全体的には性器の修整も施されており、性交シーンの見せ方も配慮されているが、一部の作品で人格否定につながる強姦、準強姦を肯定的に描いている。総合的に判断し、指定やむなし。</p> <p>最終的には女性が受け入れるストーリーがあり、導入が強引な設定は人格否定と考えられてもおかしくない。体液描写や擬音が多く指定該当やむなし。</p> <p>旅行先での出会いから始まる短編。全編に渡り、裸のシーン・セックスシーンが続く。性器や結合部が具体的に見えるものでもなく、人格否定までとは言えないが、基本不倫であり、セックスシーンが多すぎる。指定やむなし。</p> <p>オムニバス形式で、複数の作者がそれぞれ書いているが、どの作品も夫以外との不倫による性行為ばかりで目に余る。全編にわたり、擬音、体液描写が卑わい感を与える。指定該当やむなし。</p> <p>修整されているものの、全編にわたり性描写があり、指定やむなし。</p> <p>アンソロジーものにありがちな、ストーリーを飛ばして、いきなり行為に及ぶ作品が多く、体液描写、性行為シーンともに多く感じた。指定該当やむなし。</p> <p>全編にわたって卑わいな感じを与える。暴力的ではないが、夫婦関係への背信をむしろ性的刺激に転化しており、それを肯定するストーリーには違和感を覚える。指定該当</p> <p>テーマがタイトル通り人妻ねとられアンソロジーなので、当然だが、ストーリーの本数分性行為がある。消し部分を擬音で対応しているが、どうしてもアンソロジーのため、性行為回数が多く感じる。コミックス1冊分だと青年レベルをこえていると思う。指定やむなし。</p> <p>修整はしっかりされている。一部薬物の使用、写真による脅迫があり性的なシーンが多い。必然性に疑問。指定やむなし。</p> <p>それぞれの作品は共通して卑わい感がなく、混浴というシチュエーションで描かれたコメディタッチ。強制的な印象もない。指定非該当</p> <p>性交シーンは確かに多いが、各作品とも全体に淡白な表現で卑わい感はない。一部の作品で不同意の性交を強制するシーンがあるが、概ね同意の範疇といえ、人格否定とまでは言えない。性器の消しはほぼ完全といえる。指定非該当</p> <p>1話目については開脚描写や局部は言葉で隠してはいるものの擬音で表しているのが気にはなる。全体としても性交シーンは多いが、見せ方が雑な部分もあり、卑わい感を感じられない。恋愛まんがの流れと見れば許容の部分が多く、全編大部分とは言い難い。指定非該当</p> <p>擬音、体液描写はやや多めな印象はあるが、性器についてはぼかしを入れたり、手前に障害物を描くことで確実に直接の描写を回避しようとする一定の配慮が見られる。どの短編も描き方がコミカルな感じで現実感がある感じがしない。特に暴力的な描写もない。指定非該当</p>

条例第18条の2第2項に規定する自主規制団体からの聴き取り結果

(令和3年2月1日～2月3日実施)

	図 書 名 等	聴 き 取 り 内 容
2	<p>花音コミックス そしてネコは発情する</p> <p>令和2年12月22日発行</p>	<p>ストーリーはしっかりしている。ゲイのカップルが周囲の偏見や誤解をどう本人たちなりに乗り越えてアウティングするかという展開もそれなりに紙幅が割かれてしっかり描かれている。絵も大変上手く描いている。一方で、相手を縛ったり強引に性交するようなやや人格否定とも取れるコマも存在する。一部性器の形状が分かる絵や、擬音、体液描写が多く卑わいな印象が強い。ストーリーが一定の描かれ方をしているので残念だが、指定やむなし。</p> <p>性器の修整はされているものの、やや甘く形状が分かる箇所が散見される。また体液描写が多く、最終的に調教というのは人格否定ととられかねない。指定該当やむなし。</p> <p>器具を使って拘束したり強制するシーンがある。絵としては画力もありきれいだが、股を広げた表現や体液描写も多くみられる。指定やむなし。</p> <p>一応ストーリー性はあるが、全編にわたり、擬音、体液描写の表現が露骨すぎる。性器部分は修整されているものの、形状は分かるものが多く卑わい感がある。後半では柔道の組み手を茶化すような表現がある。指定該当</p> <p>修整されているものの、全編にわたり性描写があり、指定やむなし。</p> <p>画力の高さとストーリーの完成度を感じる。いわゆるBL好きな読者の希望をかなえつつ、人格否定や不法行為が全くみられない。ただ、擬音、体液描写がはなはだしく、性描写の箇所も多い。指定該当やむなし。</p> <p>性器の描写は露骨ではないが、性行為の描写が全編にわたっており、ストーリーも性的刺激の助長以外のものを感じさせない。指定該当</p> <p>絵の精度が高くシャープ。卑わいな印象はない。内容は友人関係の延長としての性交が主で人格否定的な要素は見られない。しかし性器の表現については、一部形状がはっきりするものが見られ、看過することに困難を感じる。残念ながら指定該当</p> <p>画力もあり、ストーリー構成もしっかりしていて内容も素敵だが、性器の消しの甘さ、登場回数が青年レベルをこえていると思う。指定やむなし。</p> <p>この作家は擬音描写を多用するタイプであり、そんなに多くない体液描写を効果的に演出してしまっているため、露骨な印象を与える。性器描写は小さいながらも修整されており、一定の配慮を感じられるうえ、性交シーンは全編大部分というほどでもない。総合的に判断し、保留</p> <p>擬音、体液描写について若干描写が気になるが、性器についてはぼかしを入れるなどして一部箇所を除き直接的な描写を行わない様配慮している。一部同意のもとではないと思われる性交を描いた部分は気にかかるが、全体としてコメディタッチで現実社会に悪影響を与えとまでは言えない。指定非該当</p> <p>コメディタッチで卑わい感はあまり感じられない。ストーリー性もあり、画力もある。性器の消しも十分されている。指定非該当</p> <p>性交や自慰シーンはあり、一部性器の根元が描かれているが、決定的に性器が描写されているとは言えない。コミカルなシーンもあり、ストーリー展開も安易に読める。全体的に青少年に与える影響は少ないと考える。指定非該当</p> <p>性行為の強要はあるが、マイルドな合意はある。修整はそこそこしっかりしているが、ところどころ形が分かる。画角などの工夫はある。やや性的シーンが多いが、話はしっかりしており、そこまでの卑わい感はないように感じられる。指定非該当</p>

条例第18条の2第2項に規定する自主規制団体からの聴き取り結果

(令和3年2月1日～2月3日実施)

	図 書 名 等	聴 き 取 り 内 容
3	<p>ミケプラスコミックス サンプリング・セックス</p> <p>令和3年1月29日発行</p>	<p>道具の使用が頻発する。性器の消しも甘い。体液描写、擬音も大変多く、卑わい感が強い。開脚した状態の性交や結合部分の描写が大きく、くり返し描かれていることも卑わいである。ゲイのカップルが体の関係だけでなく、心のつながりも求める展開が後半に出てくるが、それまでの度重なる性描写を考慮すれば指定該当</p> <p>物語の構成もよく練られており、恋愛を描こうとしている。設定上、器具を用いた性行為が中心だが、人格否定とまではいかない。とはいえ、性器の修整が甘く、形状も細部も見せており、露骨な印象が強いため、成人向き。指定該当</p> <p>性器の修整が甘い上に器具も性器に見える描写である。指定該当やむなし。</p> <p>仕事関係から始まっていくストーリーで、開発という名のもとに流れが2人の関係にもって行かれる。性器の描写がリアル。器具にしる性器にしる、体液も多く描かれている。オモチャをテストしながら人をオモチャあつかいしている面もある。指定やむなし。</p> <p>ストーリーとして純愛な要素もあり、読み応えのある部分もある。ただ性交及び性器描写についてははっきりと描かれており、修整を入れているとは言い難い。器具についても割とグロテスクに描写している。指定該当</p> <p>修整がないのに等しく、性描写も多く指定やむなし。</p> <p>主人公の、弟とのトラブルを解決すべく商品開発をがんばる姿、2人が結ばれていく過程のストーリーはとてもいいと感じる。ラストの2人の会話には、文学性すら感じる。ただ、性器の修整がないに等しい部分もあり、性行為シーンも大量に描かれており、指定該当やむなし。</p> <p>性器の修整が、白い太線を上から何本か入れた形の箇所が多く形状がわかる。性器を模した器具もリアル感が強い。擬音、体液描写も多い印象。指定該当</p> <p>性器描写の修整が甘い。仕事を通しての恋愛関係の発展というストーリーになっているが、あまり説得力はなく、むしろその展開上の性行為の描写が内容的に中心となっていて卑わいな感じを与える。指定該当</p> <p>キャラクターがしっかり造形されておりストーリー作りにもアイデアが豊かである。テーマも柔らかな人間関係の機微を描くものであり、総じて「作品」としては上質なものとなっている。惜しむらくは性器の描写についてであり、消しが甘くリアルに露出されるケースが多く看過することは難しい。残念ではあるが、指定該当</p> <p>B L王道漫画。キャラも少なく読みやすく、ストーリー展開も王道。性器や器具の登場回数や多さも気になるが、全編消しの甘さが青年レベルを超えていると思う。指定やむなし。</p> <p>修正が甘い。性描写のシーンが多い。成年向けで販売すべき。指定該当</p> <p>性器部分の消しが甘く、また陰毛もあえて表現するなど特に卑わい感が強い。器具を使った性行為もあり、表現が露骨である。ただ、途中何ページか性行為のないシーンがあり、それだけ見れば大人の恋物語とも解釈できる。判断に迷う所もあり、保留</p> <p>全体的にストーリー性があり、細かい心理描写もあり読みごたえのある作品。強制的なイメージは受けないが、性交シーンが多く、性器の消しが甘い。総合的に判断し、保留</p>